

請願第2号

向日市を「子育ての町」にするために保育所のよりよい環境づくりを
求める請願

紹 介 議 員
丹 野 直 次
杉 谷 伸 夫

向日市を「子育ての町」にするために保育所のよりよい環境づくりを求める請願

【請願の要旨】

- ・各地域の拠点となっている既存の公立保育所を維持してください。
- ・待機児童増加や保育の質の低下がないよう、保育予算を確保してください。
- ・育児休暇中の保育年齢の拡大に引き続き取り組んでください。

【請願の理由】

- ・市が直接保育運営に携わり、築き上げた一定の保育水準を継続することで、市全体の保育水準の底上げができ、保育の質の維持と向上が期待できます。また、公的立場を活かした連携や活動により、配慮の必要な子どもや、保護者や家庭への子育てに関する専門的な支援が期待でき、市民が安心して足を運べます。
- ・幼児教育・保育の無償化により、入所希望者や待機児童の増加が予想されます。十分な正規保育士を確保してこそ保育の質が守られ、待機児童解消や地域の子育て支援の充実につながると考えます。また、新型コロナウイルス感染予防により、子どもたちの活動や遊びが制限されたり、保育士の負担が増大したりしている現状改善のために、コロナ禍での保育や施設管理備品の充実、消毒等の消耗費や人件費等の確保を求めます。さらに、あたたかいご飯を、子どもたちがおいしく、安心・安全に食べられるよう、主食提供に向けた整備が進められることを望みます。
- ・育児休暇中の保育年齢が2歳に引き下げられましたが、依然として周辺自治体とは差があります。きょうだいの年齢差にかかわらず、子育てや就労についてのライフスタイルを選択し、育休明けの就労の負担を軽減できることは、市民の安心につながります。

令和3年11月16日

請 願 者

向日市議会議長
長 尾 美矢子 様